

群馬県の農林水産業の概要

特徴・取組

群馬県は、県土の約3分の2を丘陵山岳地帯が占め、変化に富んだ地形をなしている。平坦地域では年間日照時間が長く、特に冬季には「からっ風」の名で称される北西の季節風が強く吹き、乾燥した天気が続く地域である。

利根川水系などの豊富な水資源や、大きな標高差の中に耕地が分布する等の恵まれた自然条件、大消費地に近いという有利な立地条件を活かして、多彩な農業が展開され、野菜や畜産（豚、生乳）などの産地となっている。

群馬県の産業構造は、製造業の割合が高く、高い技術力をもった企業が多い。県内の上位産業を生産額でみると、自動車製造業をはじめとする「輸送用機械器具製造業」の割合が最も高く、次いで「食料品製造業」となっている。

特産物のこんにゃくいもは、全国収穫量の94%を占め、群馬県の中山間地域における基幹作物となっており、関連産業（製粉、加工、流通）も含め、地域経済に大きな役割を果たしている。また、嬭恋村などで生産されるキャベツや中部・東部の平坦地域で栽培が多いきゅうりの収穫量は全国第2位となっている。

畜産は、乳用牛・豚のいずれも飼養頭数が全国で5位以内に入るほど盛んである。

花き（バラ、スプレーギク等）は、中山間地域から平坦地域まで地域特性に応じた品目の栽培に取り組んでいる。

輸出では、和牛が、アジア、アメリカ、ヨーロッパ等多くの国・地域に輸出されている。こんにゃく製品は、近年、健康志向の高まりを受け、各国・地域への輸出が伸びている。

県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画2021-2025」に基づき、基本目標「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」に向けて、成長産業として農業の持続的な発展を促進する「産業政策」と、農業・農村の有する多面的機能の発揮や農村の持続的な発展を促進する「地域政策」を車の両輪として推進。

将来にわたって豊かな食生活を支える本県農業・農村が環境と調和しながら持続的に発展することを目指す。

主な農林水産物

こんにゃくいも

群馬県の基幹作物で、収穫量は全国の94%を占めている。新商品の開発や輸出に積極的に取り組んでいる。
(収穫量全国1位)



キャベツ

嬭恋村(つまごいむら)などを中心に栽培されており、収穫量は、全国の18%を占めている。
(収穫量全国2位)



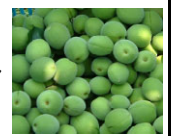
きゅうり

県東部地域を中心に栽培されており、収穫量は全国の10%を占めている。
(収穫量全国2位)



うめ

県西部の高崎市榛名地区、安中市秋間地区及び箕郷地区を中心に産地形成されている。
(収穫量全国2位)



ほうれんそう

年間を通して晴天が多く、県内各地で施設・露地栽培が盛んである。
(出荷量全国1位)



生乳

赤城山麓(県中部地域)を中心に乳用牛が飼養されており、全国有数の生産量を誇っている。
(生産量全国5位)



生しいたけ

県西部地域では特に原木による栽培が盛んである。
(生産量全国4位)



豚

県中部、東部地域を中心に飼養されており、全国有数の飼養頭数を誇っている。
(飼養頭数全国4位)



ねぎ

秋冬ねぎを中心に栽培されている。また、下仁田ねぎは県西部地域の特産品として栽培されている。
(収穫量全国5位)



繭

富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録され、シルク製品が注目を集めている。
(生産量全国1位)



群馬県内の各地域における農林水産物

利根沼田地域

【農産物】りんご、こんにゃくいも、レタス、ふき、うど、トマト、えだまめ、ブルーベリー、ほうれんそう、シクラメン
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ

東部地域

【農畜産物】きゅうり、なす、ねぎ、水稻、やまのいも、ほうれんそう、はくさい、シクラメン、あじさい（鉢もの類）、肉用牛、豚
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】ふな、にじます、やまめ

中部地域

【農畜産物】鶏卵、水稻、きゅうり、ほうれんそう、えだまめ、小麦、トマト、繭、バラ（切り花類）、ブルーベリー、こんにゃくいも、豚、生乳、肉用牛
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】こい、あゆ、にじます、やまめ

吾妻（あがつま）地域

【農畜産物】キャベツ、こんにゃくいも、はくさい、べにばないんげん、えだまめ、スプレーギク、スイートコーン、鶏卵
 【林産物】えのきたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ

西部地域

【農畜産物】うめ、ねぎ、なす、いちご、日本なし、繭、プラム、こんにゃくいも、鶏卵
 【林産物】生しいたけ、なめこ、まいたけ
 【水産物】にじます、いわな、やまめ、こい



群馬県の農業（1）

- ・耕地面積は6万5,900haで、うち、畑4万1,200ha。
- ・農業経営体数は2万298経営体で、うち法人経営体は739経営体で4%。
- ・認定農業者数は4,821経営体で、うち、法人経営体は610経営体で13%。

耕地面積

区分	群馬県	全国	全国順位
耕地面積	65,900 ha	4,349,000 ha	19
田	24,700 ha	2,366,000 ha	32
畑	41,200 ha	1,983,000 ha	9
普通畑	37,200 ha	1,126,000 ha	5
樹園地	2,880 ha	263,200 ha	29
牧草地	1,150 ha	593,400 ha	14
参考) 総土地面積	636,228 ha	37,797,463 ha	21

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	群馬県	全国	全国順位
荒廃農地面積	9,058 ha	281,831 ha	12

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	群馬県	全国	全国順位
担い手への集積面積	26,923 ha	2,535,115 ha	22
集積率	40.3 %	58.0 %	22

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	群馬県	全国	全国順位
農業経営体数	20,298 経営体	1,075,705 経営体	25
法人経営体	739 経営体	30,707 経営体	13
総農家数	42,275 戸	1,747,079 戸	17
販売農家	19,405 戸	1,027,892 戸	25
参考) 世帯総数	805,252 世帯	55,830,154 世帯	17
集落営農数	116 集落営農	14,490 集落営農	32

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	群馬県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,832 人	1,363,038 人	23
男	16,773 人	822,144 人	23
女	11,059 人	540,894 人	23
65歳以上	19,060 人	948,621 人	24
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	68.5 %	69.6 %	-
認定農業者数	4,821 経営体	233,806 経営体	20
法人数	610 法人	26,080 法人	16
参考) 総人口数	1,939,110 人	126,146,099 人	18

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

群馬県の農業（2）

- ・農業産出額は、2,463億円で全国第14位。内訳は、野菜が1,004億円、豚が465億円、生乳が214億円、米が152億円、肉用牛が146億円。
- ・農畜産物の生産状況は、こんにゃくいも、蒟及びほうれんそうが全国第1位、キャベツ、きゅうり及びうめが2位。
- ・農産物直売所の年間販売金額は、311億6,200万円 で全国第9位、事業体数は1,010事業体で5位。

農業産出額

区分	群馬県	全国	全国順位
農業産出額	2,463 億円	89,557 億円	14
米	152 億円	16,551 億円	33
麦類	13 億円	521 億円	5 *
雑穀	1 億円	77 億円	15
豆類	3 億円	712 億円	26
いも類	13 億円	2,391 億円	22
野菜	1,004 億円	22,520 億円	6
果実	80 億円	8,741 億円	26
花き	46 億円	3,080 億円	21
工芸農作物	61 億円	1,553 億円	6
その他作物	11 億円	697 億円	17 *
畜産	1,079 億円	32,279 億円	9
肉用牛	146 億円	6,863 億円	13
乳用牛	259 億円	9,310 億円	5
生乳	214 億円	7,798 億円	6
豚	465 億円	6,596 億円	4
鶏	199 億円	8,724 億円	15
鶏卵	126 億円	4,577 億円	17
ブロイラー	61 億円	3,621 億円	14 *
その他畜産物	12 億円	787 億円	6
加工農産物	1 億円	436 億円	29

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	群馬県	全国	全国順位
こんにゃくいも	収穫量	R3 51,200 t	54,200 t	1
蒟	生産量	R2 28 t	80 t	1
ほうれんそう	出荷量	R2 20,500 t	182,700 t	1
キャベツ	収穫量	R2 256,500 t	1,434,000 t	2
きゅうり	収穫量	R2 55,800 t	539,200 t	2
うめ	収穫量	R2 5,190 t	71,100 t	2
はくさい	収穫量	R2 30,600 t	892,300 t	3
レタス	収穫量	R2 54,800 t	563,900 t	3
生しいたけ	生産量	R2 4,123 t	70,280 t	4
豚	飼養頭数	R3 643,500 頭	9,290,000 頭	4
ねぎ	収穫量	R2 19,600 t	441,100 t	5
生乳	生産量	R2 206,180 t	7,438,218 t	5

出典：「作物統計」、「シルクレポート2021.4月号」((一財)大日本蚕糸会調査)、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「牛乳乳製品統計」、「畜産統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	群馬県	全国	全国順位
農産加工	総額	27,705 百万円	946,841 百万円
	事業体数	630 事業体	32,400 事業体
農産物直売所	総額	31,162 百万円	1,053,366 百万円
	事業体数	1,010 事業体	23,650 事業体
観光農園	総額	1,703 百万円	35,943 百万円
	事業体数	260 経営体	5,290 経営体

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

群馬県の林業

- ・ 林業産出額は、60.4億円で全国第25位。内訳は、栽培きのご類生産が43億円で71%。
- ・ 林産物の生産状況は、生しいたけが全国第4位、まいたけ及びなめこが6位、ひらたけが7位。
- ・ 製材工場数は、81工場で全国第25位。国産材のみの入荷工場は59工場で73%。

林野面積

区分	群馬県	全国	全国順位
林野面積	409,098 ha	24,770,201 ha	21
国有林	178,537 ha	7,153,338 ha	9
民有林	230,561 ha	17,616,863 ha	31
人工林面積	176,947 ha	10,203,842 ha	25

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区分	群馬県	全国	全国順位
林業経営体数	358 経営体	34,001 経営体	33
法人経営体	76 経営体	4,093 経営体	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区分	群馬県	全国	全国順位
林業産出額	60.4 億円	4,286.4 億円	25
木材生産	17.2 億円	1,943.7 億円	29
栽培きのご類生産	43.0 億円	2,259.6 億円	12

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区分	群馬県	全国	全国順位
素材生産量	208 千m ³	19,882 千m ³	27
針葉樹	203 千m ³	18,037 千m ³	27
すぎ	145 千m ³	11,663 千m ³	21
からまつ	37 千m ³	2,008 千m ³	6
広葉樹	5 千m ³	1,845 千m ³	32
生しいたけ	生産量 4,123 t	70,280 t	4
まいたけ	生産量 1,193 t	54,993 t	6
なめこ	生産量 990 t	22,835 t	6
ひらたけ	生産量 50 t	3,824 t	7
えのきだけ	生産量 263 t	127,914 t	10

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

製材工場数

区分	群馬県	全国	全国順位
工場数	81 工場	4,115 工場	25
製材用素材の入荷があった工場数	81 工場	4,067 工場	25
国産材のみ	59 工場	3,237 工場	28
国産材と輸入材	22 工場	653 工場	10

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

群 馬 県 の 漁 業

- ・内水面漁業経営体数は、39経営体で全国第30位。
- ・内水面漁業漁獲量は、ふなが1tで全国第13位。
- ・内水面養殖業収穫量は、こいが93tで全国第4位、にじますが134tで9位。

漁業経営体数

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
内水面漁業経営体数	39 経営体	4,772 経営体	30

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	群 馬 県	全 国	全国順位
内水面漁業・養殖業生産量	273 t	50,832 t	27 *
内水面漁業漁獲量	1 t	21,745 t	40 *
ふな	1 t	396 t	13 *
内水面養殖業収穫量	272 t	29,087 t	15 *
こい	93 t	2,247 t	4 *
にじます	134 t	3,858 t	9 *
ます類その他	39 t	2,026 t	12 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

「ほうれんそう」出荷量日本一を達成

群馬県産のほうれんそう出荷量（令和2年4月～令和3年3月）が、農林水産省が公表する令和2年産「野菜生産出荷統計」において、統計開始以来、初めて全国第1位に輝いた。

本県は、平坦地から中山間地まで県内各地に産地があり、秋冬期（10～3月）の出荷量が年間出荷量の約65%を占める。また、雨よけ栽培を活用した周年栽培により、常雇用を導入した企業的な大規模経営体が育成されている。

県では、ほうれんそうを野菜重点8品目に位置付け、栽培技術指導や補助事業による栽培施設・機械などの導入支援や出荷調製作業の省力化に向けた機械化作業体系の推進、標高差を活かした産地リレーによる周年出荷体制の強化を支援するとともに、販売消費活動や野菜産地の紹介動画の発信によるPR活動等を実施している。



G-アナライズ&PRチーム

知事をリーダーとする「G-アナライズ&PRチーム」を中心に、県産農畜産物の健康やおいしさなどに関わる成分を分析し、その成果を販売促進や生産振興に繋げる取組を進めている。

分析対象品目は、「産地の意欲」「今後、消費者に新たに発見・注目してもらいたいもの」「他県産ライバルの存在」などの観点から選定。これまでに、いちご「やよいひめ」、豚肉、とうもろこし、上州地鶏及びりんごの成分分析を行った。分析結果は、知事記者会見で公表するとともに、県庁動画・放送スタジオ「tsulunos」でのPR動画配信、ホームページやSNS等による情報発信を行っている。

